



News Letter no.16

ニュース・レター

日本図書館協会児童青少年委員会 2014.4.1

ISSN 2188-6067

再開にあたって

日本図書館協会児童青少年委員会では、公共図書館の児童サービスを発展させるた児童サービス担当者の皆さんをはじめ、児童サービスに携わっているすべての皆様に児童青少年委員会の活動をお知らせするとともに、児童図書館界の情報交流を促す場としても役立つように努めてまいりました。ひき続き、皆様のご協力を得ながら発行していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、以前は英文であった表題を今号より「ニュース・レター」に変更いたしました。

委員長 坂部 豪

【1. 事業計画】

第34回児童図書館員養成専門講座の開催

『図書館雑誌』2014年2月号でお知らせしているとおり、標記の講座を開催いたします。本講座は、公共図書館の児童サービスの現場で中心的役割を果たし、指導者・助言者として活躍できる人を養成することを目的としています。日本全国各地で、公共図書館の児童サービスを発展させていくためには、現場で児童サービスの実務を担っている図書館員のさらなる向上と研修の場が必要です。受講生には、講座で学んだことを、広く他の図書館員に伝えていくことが期待されています。多くの時間と努力を求められますが、それだけの価値はあると思います。県内への周知をお願いするとともに、全国からの多数のご応募をお待ちしています。

☆ 期日 前期 2014年6月23日(月)～28日(土) [6日間]
後期 2014年9月29日(月)～10月8日(水) [9日間] 10月4日(土)は休み

☆ 受講資格 上記の目的に合う、次の条件を満たす人。

- (1) 司書有資格者であること。
- (2) 公共図書館職員として5年間以上の経験を持つこと。
- (3) 公共図書館の児童サービス担当を2年間以上経験していること。

☆ 応募締切 2014年4月22日

☆ カリキュラム (予定)

前期

| 日時 | | 午前(9:30～12:30) | 午後(1:30～4:30) |
|-------|---|-------------------|----------------|
| 6月23日 | 月 | | 開講式 坂部 豪 |
| 24日 | 火 | 児童奉仕の運営・年間計画 川上博幸 | |
| 25日 | 水 | 図書館の魅せ方 | 押樋良樹 ブックトークの実演 |

| | | | | |
|-----|---|-------------------|------|------------------|
| 26日 | 木 | 児童図書館員の仕事 | 松岡享子 | おはなしの実演 |
| 27日 | 金 | 児童図書の編集・出版 | 別府章子 | メディアと子どもの発達 谷村雅子 |
| 28日 | 土 | 児童奉仕の実際(1)乳幼児サービス | | 島本まり子 |

後期

| | | | | |
|-------|---|--------------------------------------|------|----------------------|
| 9月29日 | 月 | 児童資料(1)絵本 | | 矢野 有 |
| 30日 | 火 | 児童資料(2)外国の児童文学 | | 早川敦子 |
| 10月1日 | 水 | 児童資料(3)日本の児童文学 | | 宮川健郎 |
| 2日 | 木 | 児童奉仕の実際(2)ストーリーテリング | | 内藤直子 |
| 3日 | 金 | 児童奉仕の実際(3)レファレンス | | 東京都立多摩図書館 |
| 5日 | 日 | 児童奉仕の実際(4)ブックトーク | | 杉浦弘美 |
| 6日 | 月 | 児童資料(4)科学の本 | 塚原 博 | 児童奉仕の実際(5)科学あそび 塚原 博 |
| 7日 | 火 | 児童奉仕の実際(6)選書・蔵書構成 | | 杉岡和弘 |
| 8日 | 水 | 児童奉仕の実際(7)図書館利用に 障害のある子どもたちへのサービス | 山内 薫 | 研修の自己評価とまとめ 坂部 豪 |

【2. 報告】

① World Library and Information Congress (世界図書館・情報会議)

国際図書館連盟 (IFLA) 第79回シンガポール大会

IFLA児童・ヤングアダルト図書館分科会常任委員 飛田由美

2013年8月17日から23日にかけて、シンガポールで第79回IFLA年次大会が開催されました。大会のテーマは”Future Libraries: Infinite Possibilities”(未来の図書館—無限の可能性)で、世界各国から約3,750名が参加しました。日本からの参加者は79名でした。日本図書館協会児童青少年委員会の委員4名がIFLA児童・ヤングアダルト図書館分科会常任委員会と関連セッションを中心に参加しました。

シンガポールの図書館



☆ セッション

「研修と教育」をテーマとするセッションでは、アメリカの発表者から、「児童図書館員に求められるスキルが多岐にわたるようになったが、アメリカには州ごとのプログラムはあるものの、国として統一された研修プログラムがないので、児童・ヤングアダルト図書館分科会で研修モデルを開発してほしい」という要望が出されました。この要望を受け、分科会の新規のプロジェクトとして、「研修」を取り上げることが決まりました。

ほかに、「ヤングアダルトと図書館」や「IFLAプロジェクト：絵本で知る世界の国々、姉妹図書館」というセッションも行われました。また、シンガポール中央図書館で「今の忙しい世の中で子どもに読書させるには」という公開講座も開催されました。

☆ 常任委員会

IFLAのヤングアダルトへの図書館サービスガイドライン、“Guidelines for Library Services for Young Adults”が日本語に翻訳されたという報告がありました。ガイドラインの日本語訳はIFLAのサイトで読むことができ、日本図書館協会から購入することもできます。また、2014年には「児童図書館サービス」のガイドライン、2015年には「乳幼児への図書館サービス」のガイドラインの見直しを行うことになりました。

② IFLA児童・ヤングアダルト図書館分科会サテライトミーティング2013

IFLA担当委員 護得久えみ子

サテライトミーティングは、2013年8月14日、15日にタイ・バンコクで開催されました。「未来を創る：児童・ヤングアダルトに関する、全ての形態の文化遺産の保存、デジタル化、アクセス」(Creating the future: preserving, digitizing and accessing all forms of children's and young adults' cultural heritage)をテーマに、児童・ヤングアダルト図書館分科会とIFLA資料保存コア活動が共催し、運営はTKパーク(Thailand Knowledge Park：タイの教育省の管轄で、図書館運営や、読書推進活動を行う組織)とタイIBBY、タイ図書館協会が協力してあたりました。参加者は16カ国から約200人でした。

☆ 事例発表

子どもの本のデジタル化と保存」「学校・公共図書館における文化遺産」「声で受けつがれる伝統」など5つの柱立てで、16の発表が行われました。アメリカ、スウェーデン、タイ、オーストラリア、アゼルバイジャン、ラトビア、パレスチナなどの発表者が、現代の子ども文化のデジタル保存から口承の物語の採集まで、それぞれの活動を紹介しました。

日本からは、各地でわらべうたの講師などを務める石川道子さん(かながわこどもひろば)による「わらべうたは豊かな言葉の世界」(A world rich in words within Japanese nursery rhymes)と題した日本のわらべうたについての発表がありました。わらべうたの歴史から、現在の図書館や保健センターでの実践までをコンパクトにたどったのち、実際にわらべうたをいくつか紹介しました。最後に石川さんが「タイの人ならだれでもうたえる、有名な子守歌があると聞いている、よかったらうたってくれないか」と呼びかけたところ、タイの参加者が歌を披露してくれました。それに続いて、インドやウガンダ、フランス、中国、ラトビアの参加者も、それぞれ自国の子守歌をうたい、会場中がなごやかな空気につつまれました。



日本からの参加者



わらべうたの発表をする石川さん



わらべうたのワークショップ

☆ まとめと提言

全体のまとめでは「図書館が何をどのように保存するか、計画をたてる必要がある」「保存形態にも留意する必要がある」「保存したものにアクセスできるようにすることも大切」などの点が挙げられました。デジタル化してインターネット上で公開すれば、世界中からアクセスが可能になり、移民の人々が自国の文化にふれることもできるという利点がある一方、インターネットのない地域には他の形態でのアクセスを考えなくてはいけないこと、デジタル化する場合、保存形式は頻繁に変わるので、対応が必要であること、また、デジタル化はコストがかかり、先進国でも進めていくのが大変であるなどの点も指摘されました。（まとめと提言はIFLA児童・ヤングアダルト図書館分科会のニュース・レターにも掲載。）

http://www.ifla.org/files/assets/libraries-for-children-and-ya/newsletters/newsletter_jan_14_0.pdf

③「絵本で知る世界の国々—IFLAからのおくりもの」の開催

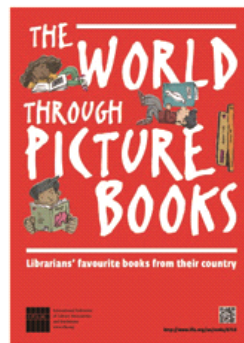
The World Through Picture Books 国立国会図書館国際子ども図書館展示会

飛田由美

昨年に引き続き、国際子ども図書館で4月22日(火)から5月25日(日)まで、展示会「絵本で知る世界の国々—IFLAからのおくりもの」を開催します。この展示会では、IFLA児童・ヤングアダルト図書館分科会の「絵本で世界を知ろうプロジェクト」により、国際子ども図書館に寄贈された30以上の国や地域の代表的な児童書約300冊を展示します。展示会終了後、日本国内の図書館4館に展示会セットの貸出しを行う予定です。

参考) 「絵本で世界を知ろうプロジェクト」
英文ページ) URL : <http://www.ifla.org/node/6718>

国立国会図書館国際子ども図書館展示会



☆ The World Through Picture Books 2012年8月 フィンランドでの展示



ヘルシンキ



ヨensuu

④ IFLA ヤングアダルトへの図書館サービスガイドラインを翻訳・刊行

2013年7月、IFLA（国際図書館連盟）児童・ヤングアダルト図書館分科会で編集した『IFLA ヤングアダルトへの図書館サービスガイドライン 2008年』を、児童青少年委員会で翻訳・刊行しました。翻訳にあたっては日本語版独自に日本での優れた事例として、荒川区立図書館の取り組みを紹介させていただきました。実際に公共図書館でヤングアダルト向けの図書館サービスを企画する時の参考にさせていただき、その成果をまた事例として報告していただければと思います。



【活動日誌】

委員会開催 2014年1月1日～

1月20日、2月17日、3月17日 いずれも月曜日午後2時～

【委員名簿】

| 名前 | 所属 |
|----------------|-------------------|
| 坂部 豪（委員長） | 元・水戸市立見和図書館 |
| 浅見 佳子 | 鎌倉市中央図書館 |
| 川上 博幸 | 元・枚方市立図書館 |
| 護得久 えみ子 | 東京子ども図書館 |
| 杉浦 弘美 | 横浜市金沢図書館 |
| 杉岡 和弘 | 姫路市立城内図書館 |
| 高橋樹一郎 | 天理市立図書館 |
| 塚原 博 | 実践女子大学 |
| 中多 泰子 | 元・大正大学／東京都立中央図書館 |
| 依田 和子 | よこはまライブラリーフレンド |
| | |
| 大場 悦子（～2014.3） | 前・葛飾区立上小松図書館 |
| 飛田 由美（～2014.3） | 前・国立国会図書館国際子ども図書館 |

【連絡先】

日本図書館協会 児童青少年委員会事務局

川下美佐子

Tel. 03-3523-0816／Fax. 03-3523-0841

メールアドレス kawashita@jla.or.jp

ニュース・レター 第16号：News Letter no.16 ISSN 2188-6067

編集・発行 日本図書館協会児童青少年委員会 2014年4月1日発行

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 Tel. 03-3523-0816 Fax. 03-3523-0841

URL <http://www.jla.or.jp/committees/jidou/tabid/275/Default.aspx>